

鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会委員名簿（出席確認用）

	氏名	役職	備考
1	三矢 正士	鶴岡市町内会連合会常務理事	
2	畠山 健	鶴岡市消防団副団長	欠席
3	山木 知也	鶴岡市社会福祉協議会常務理事	
4	小林 和男	鶴岡市社会教育委員長	欠席
5	清野 康子	鶴岡市生涯学習推進員	
6	阿部 等	(特)公益のふるさと創り鶴岡常務理事	
7	田口 比呂貴	鶴岡市地域おこし協力隊	欠席
8	早尻 正宏	山形大学農学部准教授	
9	武田 真理子	東北公益文科大学准教授	
10	松浦 伸	藤島中学校元PTA会長	欠席
11	加藤 欣也	鶴岡まちづくり塾羽黒グループ	
12	鈴木 光秀	産直めぐり取締役	欠席
13	小関 祐二	六十里越街道会議会長	
14	斎藤 優子	あつみ湯けむり女子会会長	
15	石塚 慶	鶴岡市三瀬地区自治会事務局長	
16	齋藤 建	藤島地区自治振興会会長	
17	忠鉢 孝喜	温海地域自治会長会副会長	
18	長谷川 結	雑誌編集者	
19	長南 みゆき	知憩軒代表	欠席

鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会の運営について（案）

鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会（以下「委員会」という。）の円滑な運営を図るため、次の事項について定める。

1 委員会の招集等

会議を開催しようとするときは、委員に対し、会議の日の1週間前までに通知し、また、会に付する案件及び資料を事前に送付する。

2 会議の公開等

会議は公開とする。ただし、委員会が必要と認めるときは、これを公開しないことができる。会議の公開は、会議の傍聴を認めることにより行うものとする。

3 会議の概要

会議終了後、事務局において、次の事項により会議の概要を作成、委員に送付し、かつ鶴岡市のホームページにおいて公表するものとする。ただし、発言した委員の氏名及びその他必要な事項について不開示とする。

- (1) 開催日時及び場所
- (2) 出席者の氏名
- (3) 案件及び協議の概要
- (4) 会議資料
- (5) その他必要な事項

5 その他

その他、委員会の運営において、必要な事項が生じた場合は、委員会に置いて協議する。

鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会設置要綱

(設置)

第1条 鶴岡市地域コミュニティ基本方針（以下「基本方針」という。）に定められた事項を適切に推進し、本市の地域コミュニティの維持・活性化に資するため、鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 委員会は、基本方針に定められた事項のほか、本市地域コミュニティの維持・活性化のための施策について検討するとともに、取組み主体に意見を付すこと。

(組織)

第3条 委員会は、地域活動に関わる組織の役員及び関係者、地域活動の経験者、学識者並びに公募委員をもって組織する。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、平成29年3月31日までとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を一人置き、委員の互選によりこれを定める。
2 委員長は、会務を総括する。
3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(委員会)

第6条 委員会は、委員長が招集し、会の議長となる。
2 委員長は、必要に応じ、委員以外の者に出席を求め、意見を聴くことができる。

(事務局)

第7条 委員会の庶務は、市民部において処理する。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成25年5月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

鶴岡市地域コミュニティ基本方針の概要について

資料1

地域コミュニティを取り巻く背景

- ①人口減少、高齢化の進行
- ②市民ニーズの多様化、就業構造、核家族化、ライフスタイルや帰属意識の変化
- ③地域コミュニティの仕組みや支援内容の旧市町村単位による相違
- ④小学校区の再編
- ⑤農林水産業の低迷



主な地域コミュニティの現状

- <市民生活>
 - 社会的弱者の見守りニーズ、特に高齢者世帯の増加により、移動、除雪、介護等、個人で解決できない課題等の増加が見込まれる
- <単位自治会>
 - 人口減少、高齢化等による、組織、活動、資金各面の縮小傾向の中、住民同士の交流、協働の機会も減少しており、今後、単位町内会での解決が困難な課題が増えてくることが予想される
- <地区・小学校区>
 - 地域ごとにコミュニティの単位、仕組み、行政との連携、行政支援の内容が異なっている

《基本理念》 市民がまちづくりの主役として、個性あふれ豊かさを実感できる地域社会を築く地域コミュニティの構築

地域コミュニティが果たす役割と目指す姿

(1) 地域コミュニティの果たす役割

- ①まちづくり活動の主体となる地域コミュニティ
身の回りの課題の解決や魅力ある環境づくりにおいては、地域の事情やニーズを理解している住民自身に関わることが肝要であり、地域コミュニティが主体となって活動に取り組みます
- ②年齢やライフステージに応じて活動に関わられる地域コミュニティ
誰もが無理なく地域の活動に参加できるよう、青年期・中年期・壮年期などの各年齢期や、結婚・子育て・退職などのライフステージに応じて柔軟に関われる環境づくりを進めます

(2) それぞれの単位の目指す姿

- ①個人・家庭
幼少期からこどもたちの郷土愛を育むとともに、地域活動に対する理解を深めます
- ②隣近所や隣組
互いに気を配り、いざというときに頼りになる近隣関係を構築します
- ③単位自治組織(町内会、住民会等)
個人では対応が難しい課題の解決や行政情報の伝達、住民要望の集約に取り組みます
- ④広域的なコミュニティ組織
単位自治組織をまたがる広域的な課題の解決や地域資源を活かした地域づくりなどを推進するため、地域活動のコーディネート機能を発揮します

地域コミュニティ基本方針(平成24年度策定)

鶴岡市地域コミュニティ基本方針の概要について2/3

自治組織に望まれる取り組みや機能

(1) 単位自治組織(町内会、住民会等)

市内には現在467の単位自治組織がありますが、立地条件や、組織の規模等により、活動内容が異なります。いずれの場合においても、少子高齢化や帰属意識の低下などより、活動の担い手が減少傾向にあり、一部の役員等の負担が増しています。今後、持続可能な活動を指すうえで、担い手を確保することが多くの組織において共通の課題となっており、次のような取り組みが望まれます。

①誰もが参加できる開かれた活動

- ・総会資料などの作り方に工夫を加え、活動方針や重点的な取り組みを明示したり、広報紙を作成・配布し自治会活動を周知したりするなど、活動への理解やコミュニティ意識の醸成を図る取り組み
- ・役員交代や協力体制のルール化など、組織体制、任期の定め方などの点検・見直し

②話し合いの機会の創出

- ・地域づくりの基礎となるコミュニケーションを促進し、情報を共有するための話し合いの機会の確保
- ・単なる承認手続きの場に止まらず、実質的な話し合いの機会となり、事業内容に反映される話し合いの場づくり

③無理のない活動

- ・住民の合意に基づき活動の優先順位や内容の見直しを行い、組織の実態に応じた「無理のない」運営の実現

④人材発掘・育成

- ・定年退職した人や、結婚や転勤などに伴い、新しく住民になった人でも、気軽に参加できる機会の提供
- ・仲間づくりや参加者の拡大を図るため、あきらめずに誘い続ける「声がけ」の実践
- ・子どもたちが成長した際、「ここで暮らしていきたい」と思えるような郷土愛を育む地域活動の実践

(2) 広域的なコミュニティ組織

単位自治組織の機能維持が難しくなっている昨今、広域的な取り組みへの期待が高まっていることから、今後、単位自治組織や各種団体等とも連携した広域的なコミュニティの組織化や、活動基盤の強化が望まれます。広域的なコミュニティ組織の事務局は、住民により近い立場にある地域活動の専門家として、今後の地域づくりにおいて重要な役割を担うことが期待されます。

①地域課題の把握と解決に向けた取り組み

- ・地域の課題を整理し、取り組みに反映するため、住民の声を反映した地域ビジョンづくり
- ・地域課題の解決に向け、地区内の単位自治組織や、各種団体、人材等の地域資源を生かした取り組みや、必要に応じて行政と協調した事業の実施

②単位自治組織の支援や機能分担

- ・少子高齢化に伴い、今後縮小傾向が見込まれる単位自治組織の機能を補完したり、より積極的に機能分担を進めたり、適切な支援やアドバイザーをしたりすることができ体制づくり

③市民活動の育成やコーディネート

- ・地区内でそれぞれの目的のため活動を行うサークルやPTA等の組織や団体の設立の支援や、活動しやすい環境の整備
- ・組織や団体相互の交流や他の地域活動への関わり合いを設けるなどし、住民の活動の場を広げるコーディネート機能の発揮

鶴岡市地域コミュニティ基本方針の概要について3/3

主要な行政施策

(1) 地域課題を解決に導く地域コミュニティ支援の推進

①協働の体制づくり

優先的に取り組む課題、解決に向けた施策や手法、役割分担等について、市民や地域の声を施策に反映できる体制づくり

②地区担当職員制度の導入

地域が主体となって地域の事情に応じた課題解決や地域づくりに取り組むうえで、行政の情報やノウハウを活かせるよう担当職員を配置

③各種補助金の総合交付金化

各種補助金の交付にかかる負担を軽減するとともに、地域事情に応じた取組みが推進されるよう、従来の補助金をまとめて交付する総合交付金制度を導入

④生涯学習事業のステップアップ

地域課題の解決や地域づくりに繋がるよう、事業のあり方や行政支援のあり方を検証・見直し

(2) 広域的なコミュニティ機能の強化

①広域的なコミュニティ組織づくりと育成支援

単位自治組織の機能を補い創造的な活動を担う地区公民館等の区域を単位とした組織づくりと支援

②広域的なコミュニティ活動拠点の整備

社会教育施設の地区公民館は、福祉、防災、地域づくりなど総合的な地域活動拠点として地域活動センター等に発展的に再編

関連する行政施策

関係部局による関連施策については、組織内の連携を図るとともに、地域の関係者の意見を反映しながら取り組みます。

- ①人的、財政的支援
- ②人材育成、市民意識啓発
- ③情報収集と提供
- ④コーディネート機能の発揮
- ⑤災害に強い地域づくりの推進
- ⑥福祉によるまちづくりの推進
- ⑦居住環境の改善
- ⑧産業の振興や就業の場の確保の推進
- ⑨地域とつながる学校教育の推進
- ⑩生涯スポーツの推進
- ⑪伝統文化・民俗芸能等の伝承・育成の支援
- ⑫後継者確保の推進

進め方

(1) 市民、地域、行政による推進体制の構築

外部関係者を含む「鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会」の設置

(2) 地域事情に配慮したコミュニティ施策の推進

①6地域ごとの「地域コミュニティ推進計画」(仮称)の策定

②地域庁舎機能の見直し

広域的なコミュニティ機能の強化について

本市にある465の町内会、自治会等の単位自治組織は、50世代以下の比較的小規模な組織が半数余りを占めており、人口減少や高齢化の影響により、今後ますます担い手不足などによる活動の低迷が懸念される。

そのため、単位自治組織では取り組みが困難になると予想される防災や地域福祉、地域づくりなどの地域課題に取り組み、単位自治組織の機能を充実する広域的なコミュニティ組織を形成し、地域コミュニティの維持・活性化を図るとともに、今後も地域における安全・安心な暮らしを守ることが求められている。



【広域的なコミュニティ組織づくりと育成支援】

- 小学校区や地区公民館等の広域的なコミュニティ組織づくりを推進
- 鶴岡地域の広域的なコミュニティ組織については、地域課題解決等の取り組みの拡充に向け、活動基盤強化への支援を強化

【広域的なコミュニティ活動の拠点の整備】

- 地区公民館を地域活動センターへ発展的に再編
- 地元の広域的なコミュニティ組織による管理運営

【広域的なコミュニティ活動の拠点の整備】

- 社会教育施設の地区公民館を、総合的な地域活動の拠点施設として発展的に再編
- 市の直営から指定管理者による管理運営に移行
- 施設の管理運営は広域的なコミュニティ組織が担い、生涯学習、福祉、防災等の総合的な地域活動の拠点を目指す

平成25年10～11月

広域組織設立

平成26年4月

センター移行

《藤島地域 5つの地区公民館が地域活動センターへ》

- ①藤島地区地域活動センター(藤島地区自治振興会)
- ②東栄地区地域活動センター(東栄地区自治振興会)
- ③八栄島地区地域活動センター(八栄島地区自治振興会)
- ④長沼地区地域活動センター(渡前地区自治振興会)
- ⑤渡前地区地域活動センター(渡前地区自治振興会)

平成26年8～9月

広域組織設立

平成27年4月

センター移行

《羽黒地域 4つの地区公民館が地域活動センターへ》

- ①手向地区地域活動センター(手向地区自治振興会)
- ②泉地区地域活動センター(泉地区自治振興会)
- ③広瀬地区地域活動センター(広瀬地区自治振興会)
- ④羽黒第四地区地域活動センター(羽黒第四地区自治振興会)

《朝日地域 3つの地区公民館がコミュニティセンターへ》

- ①朝日中央コミュニティセンター(朝日中央地区自治振興会)
- ②朝日南部コミュニティセンター(朝日南部自治会連絡協議会)
- ③朝日東部コミュニティセンター(朝日東部地区自治振興会)

継続して検討

《榎引地域》

単位自治組織が21と集約されてきた。小学校区単位の地区公民館がなく、地域コミュニティを構成する各種団体の活動も中学校区単位で行われていることから、榎引公民館の活動拠点化について検討を進める。

《温海地域》

地区単位の活動拠点がなく、26年度に新たな地区公民館単位による広域の地域づくり組織を立ち上げた。活動拠点はもたず、これまで同様に各集落自治公民館で事業を行っている。

組織立ち上げ期の支援

Step1 組織設立準備の支援

⇒ 行政による実務等のバックアップ

Step2 組織設立直後の運営の支援

⇒ 活動基盤整備のための補助金の交付

指定管理者への支援等

(1)コミュニティセンター等管理運営委託料

- ①要員費 ②運営庁費(小規模修繕経費、消耗品費等) ③巡視委託費

(2)広域コミュニティ組織運営・地域づくり交付金

- ①体制整備費(要員費等)
- ②活動費(世帯数に応じた基本額、基本額以上の活動を実施する場合の活動加算額)

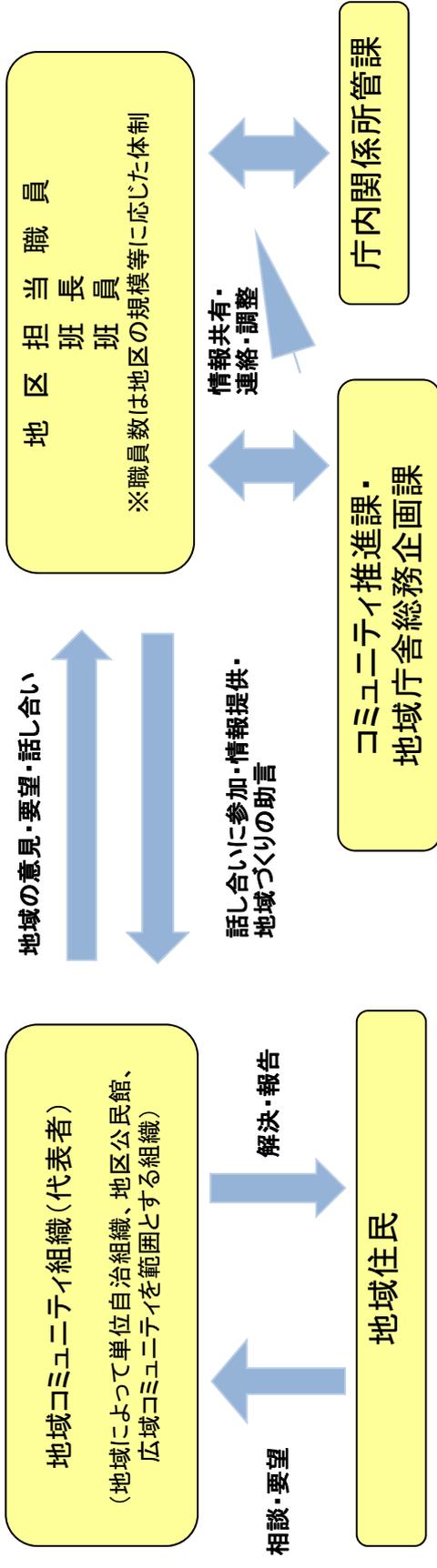
(3)円滑な施設管理、事業実施及び組織運営に向けた指導・連携・協力

《参考》 鶴岡地域では、市街地6、郊外地15の計21地区単位のコミュニティセンターを設置し(市街地/S57～H元 郊外地/S51～57)、コミュニティ振興会や自治振興会等による管理運営、地域活動が行われている。

地区担当職員制度について

地域コミュニティにはそれぞれ固有の背景と課題があり、画一的な施策では解決できないことが予想されます。地域の状況を把握し、住民が主体となった地域づくりの支援のために、地区担当職員制度は、平成25年7月スタートしました。住民との信頼関係を構築しながら、地域と行政とのパイプ役となり、地域事情に即した情報提供や地域づくりを支援します。

1 体制と活動イメージ



2 平成27年度地域別配置状況

地区担当職員は本来業務の他に、地区を受け持ち、地域の方々との話し合いや情報提供等の活動を行います。

平成27年4月現在

		鶴岡地域	藤島地域	羽黒地域	榊引地域	朝日地域	温海地域	合計
配置地区	班長	21地区 20名	5地区 5名	4地区 4名	21地区 3名	38地区 4名	27地区 9名	116地区 45名
	班員	49名	25名	22名	38名	41名	40名	215名
	計	69名	30名	26名	41名	45名	49名	260名

※鶴岡地域はコミュニティ推進課職員も各地区に配置

各種補助金の総合交付金化について

平成25年度まで

町内会長報酬(藤島)
区長報酬(羽黒)
区長報酬(榑引)
駐在員報酬(朝日)
町内会運営事業補助金(鶴岡)
住民会等運営交付金(鶴岡)
集落自治振興交付金(榑引)
行政運営交付金(朝日)
自治総合交付金(温海)
衛生事業補助金(鶴岡)
藤島地区衛生組織連合会運営補助金(藤島)
温海地区衛生組織連合会運営補助金(温海)
朝日地区衛生活動補助金
防犯灯電気料補助金(鶴岡)
公民館類似施設補助金(鶴岡)
自主防災組織育成事業等補助金(全市)

単位自治組織への支援

平成26年度から

住民自治組織総合交付金

平等割・行政依頼業務加算・衛生業務加算・
防犯灯加算・公民館維持管理加算・自主防
災組織育成加算・郊外地加算・過疎加算・
小規模町内会加算

これまで市から自治組織へ交付していた各種補助金等をまとめて交付することで、手続きを簡略化し、自治組織の負担の軽減を図るとともに、柔軟な活用ができるため、それぞれの自治組織において地域事情に応じた取り組みの推進を図ります。

また、合併前より継承していた地域ごと別々の支援制度を、統一基準とすることで不公平感を解消します。

今後一層地域コミュニティに求められる役割が増すなか、代表者個人への負担が増すことのないよう、非常勤特別職としての区長制度を廃止し、個人への報酬から組織への交付金に切り替えます。

鶴岡市住民自治組織ステップアップ事業補助金について

鶴岡市では、住民自治組織自らが、地域における問題の解決や課題の達成、若しくは魅力ある環境づくりに向け、新たに取り組む地域づくり事業等を支援し、市民がまちづくりの主役として、個性あふれ豊かさを実感できる地域社会を築く地域コミュニティの構築を推進します。

募集する事業

住民自治組織自らが、地域における問題の解決や課題の達成、若しくは魅力ある環境づくりに向け、新たに取り組む“地域づくり事業(下記の内容の事業)”を募集します。なお、既存事業でも成長、発展等ステップアップの要素があれば応募が可能です。

- (1) 安全、安心に暮らせる地域づくりに取り組む事業
- (2) 明るく活力のある地域にするための事業
- (3) その他、地域づくり特に必要と認められる事業

<採択事例(概要紹介)>

- ・ 持続可能な組織体制を構築するため組織改革プロジェクトの立ち上げと検討
- ・ 地域にちなんだ「かるた」の作成と多世代参加型のかるた大会等の開催
- ・ 高齢者等の生活支援の仕組みづくりとして、大学生と協働で除排雪を行う体制整備と実施
- ・ ボランティアで公園を新たに設置し、子ども達の遊び場やお年寄りの休憩地を確保するとともに、コミュニティ活動の場としてイベントを開催
- ・ 住民自治組織連合組織による婚活事業の開催
- ・ 知恵や特技を持つ住民を指導者に、テーマを多様に設定しながら誰もが気軽に参加できるイベントを企画・開催

応募できる団体

- (1) 自治会、町内会等の単位自治組織
- (2) 自治振興会等の広域コミュニティ組織
- (3) 上記の連合組織

※同一年度内において、1団体1事業とします。

事業の補助対象経費及び補助率等

(1) 補助対象経費

① 事業の実施に直接必要となる経費

なお、事業実施に伴う入場料・参加費等や、物販販売に伴う料金収入があった場合は、補助対象経費から除く

(2) 補助対象とならない経費

- ① 報酬、賃金等の人件費、食糧費(作業時のお茶等除く)
- ② 団体の構成員への報償や謝礼、先進地視察研修にかかる宿泊費、修繕料、光熱水費、備品購入費、工事請負費、その他事業目的に適さない経費※②について事業に必要不可欠な場合は要相談

③ 国、県又は市の他の補助事業の対象となる経費

(3) 補助率等

	単位自治組織	広域コミュニティ組織・連合組織
補助金額 上限額	1回あたり10万円 複数回は計20万円	1回あたり20万円 複数回は計50万円
補助率	補助対象経費の合計額の3分の2以内(先進地視察研修にかかる経費の内、交通費は2分の1以内)の額	
交付回数	同一事業での交付は、年1回、合計3回を限度	

鶴岡市地域コミュニティ推進計画（仮称）の策定について

1. 地域コミュニティ推進計画の位置付け

本市は広大な市域に多様な風土・歴史を有し、自治組織についても6地域ごとに異なる活動が展開されてきたこともあり、「鶴岡市地域コミュニティ基本方針（平成25年3月策定）」の「第3章1基本方針の進め方（2）地域事情に配慮したコミュニティ施策の推進」の中で、基本方針に主要な施策として位置づけた取り組みの推進にあたっては、鶴岡地域から温海地域までそれぞれの特色や事情に配慮した推進方策をまとめることとしている。

2. 地域コミュニティ推進計画の策定について

（1）体制

各庁舎に担当者を置き、これまで各地域で行ってきた実態調査をベースに情報を再整理しながら策定作業を進めるとともに、都度、本委員会や住民自治組織連合組織等に提示しご意見を伺いながら、その結果等を反映させて取りまとめる。

（2）これまでの作業経過

①地域コミュニティをめぐる現状把握

地域の世帯数・人口・人口構成の推移、鶴岡市の将来推計人口等、単位自治組織の世帯数規模と加入率、住民自治組織の形態等を整理

②地域コミュニティが抱える現状・問題意識と課題を地域ごとに整理

自治組織が抱える組織上・運営上の課題（単位自治組織、広域コミュニティ組織）、地域（住民）が抱える課題として地域ごとに整理

③地域コミュニティが抱える課題（上記②）の解決に向けて必要と考えられる具体的取り組みのアイデアを地域ごとに整理

④地域ごとに整理した現状・問題意識、課題、具体的取り組みのアイデアの項目を、全市共通項目と地域項目に再整理

（3）今後のスケジュール（案）

平成27年度： 第2回 体系図に基づき整理した項目内容について

第3回 推進計画の素案について

⇒パブリックコメントの実施

第4回 推進計画の案について

⇒地域コミュニティ推進計画の策定

鶴岡市地域コミュニティ基本方針

《基本理念》

市民がまちづくりの主体として、個性あふれ豊かさを実感できる地域社会を築く地域コミュニティの構築

《目指すコミュニティ像》

- ・笑顔であいさつを交わす心の通った地域コミュニティ
- ・より良い地域環境を築くため、皆が力を合わせる地域コミュニティ
- ・地域課題の解決に向け、住民が主体的に取り組む確かな地域コミュニティ
- ・地域ごとの異なる文化や歴史を尊重し、個性あふれる地域コミュニティ

《地域コミュニティが果たす役割》

①まちづくり活動の主体となる地域コミュニティ

自分たちの身の回りの課題を解決したり、魅力ある環境づくりを目指したりするまちづくり活動は、地域の事情ニーズを一番よく理解している住民自身に関わることで、満足度の高い成果を期待できるものであるため、これからのまちづくりについては、より地域コミュニティが主体となって取り組みます。一方、行政は地域コミュニティと一層の協調・協力を努め、活動を支援します。

②年齢やライフステージに応じて活動に関わる地域コミュニティ

就業形態やライフステージによっては、実質的に地域活動への参加協力が難しい場合も見受けられることから、少年期、青年期、中年期、壮年期といった各年齢期や、就業、結婚、子育て、退職など各々のライフステージの変化に応じて柔軟に活動に参加できる環境づくりを進めます。

鶴岡市地域コミュニティ推進計画（仮称）



3 基本方針に定める「目指すコミュニティ像」の実現に向け、地域コミュニティが抱える課題

(1) 自治組織が抱える組織上・運営上の課題

① 単位自治組織

<組織上の課題>

<用語解説>
 ○「単位自治組織」…町内会、自治会、住民会等を意味する。
 ○「広域コミュニティ組織」…概ね小学校区や地区公民館のエリアでの町内会・サークル組織・各種団体などで構成される組織。複数の町内会や自治会等にまたがるエリアのコミュニティ組織を指す。
 <分類の種類>
 ○◆共通(全市共通)、◆鶴岡共通(鶴岡地域共通)、◆鶴岡市街地(鶴岡地域市街地)、◆鶴岡郊外地(鶴岡地域郊外地)、◆藤島地域、◆羽黒地域、◆榊引地域、◆朝日地域、◆温海地域

現状、問題意識	課題項目	具体的取り組みのアイデア (具体的取り組みを設定するうえで地域資源を活用できるものがあれば記載) ※【】は取り組み主体
<p>【市民の意識】 ◆共通 ○コミュニティ意識の希薄化 ○単位自治組織活動に協力が少なく他人任せになってきている ○近隣関係の希薄化 ○世代間におけるコミュニティ意識のズレがある ○職業の多様化による結束力の弱体化</p>	<p>◆共通 A 地域コミュニティや単位自治組織の意義や活動に対する理解促進 B 近隣関係の再構築 C 世代間交流の推進</p> <p>◆鶴岡共通 D 単位自治組織が抱える問題・課題の再認識と共有</p>	<p>◆共通 A D 単位自治組織の存在意義を確認し問題・課題を共有するワーキングや講演会等の開催【単位自治組織、市】 A 総会資料等の作り方に工夫をこらし活動方針や活動自体の見える化【単位自治組織】 A D コミュニティ広報紙(コミュニティだより)の充実による情報発信力の強化【単位自治組織】 A 地域の子どもの郷土愛を育む地域教育活動の実践【単位自治組織、市】 B 笑顔で挨拶を交わす取り組みの実践【単位自治組織】 B 近隣が気軽に話し合える雰囲気や場づくり(隣組座談会など)【単位自治組織】 C 各世代が単位自治組織活動に参加しやすい雰囲気や場づくり【単位自治組織】</p> <p>◆榊引地域、朝日地域 C 一体感を醸成するための世代間交流事業の実践【単位自治組織】</p>
<p>【会員】 ◆共通 ○会員の高齢化と減少 ○単位自治組織への未加入者がいる ○会員の情報が把握できない(世帯カード等を作成する際に情報が得にくい)</p> <p>◆鶴岡市街地 ○アパート入居者で単位自治組織に入らない世帯がある</p> <p>◆榊引地域 ○会員の脱退</p>	<p>◆共通 A 単位自治組織の意義や活動に対する理解促進(再) B 在住者や転入者への加入の呼びかけ C 緊急時や災害時に備えた個人情報提供に係る理解促進と情報収集 D 民生児童委員等との連携による情報伝達・収集力の向上 E 移住・定住促進</p>	<p>◆共通 A 単位自治組織の存在意義を確認し問題・課題を共有するワーキングや講演会等の開催【単位自治組織、市】(再) A B 転入者及び転居者に対し、市民課等窓口において住民票異動手続きの際に、町内会加入呼びかけチラシを配付(継続)【市】 B あきらめず誘い続ける声かけの実践【単位自治組織】(再) C 緊急時や災害時に備えた住民情報収集の必要性、取扱い方法、活用方法及び活用成果についての説明・情報公開、その情報収集【単位自治組織、市】(再) C アンケートを活用してのコミュニティ活動に必要な住民情報や住民ニーズの収集・把握【単位自治組織、市】(再) D 単位自治組織、広域コミュニティ組織、民生児童委員、社会福祉協議会の連携による情報収集活動の検討【単位自治組織、広域コ】(再) ※広域コは組織がある地域のみ E 空き家利用によるUターン・Iターン等移住希望者の定住促進【市、単位自治組織】(再)</p> <p>◆鶴岡市街地 A B 市、自治組織、関係団体との連携によるアパート家主及び入居者等への町内会加入啓蒙の推進【市・単位自治組織】 C D 市と単位自治組織と関係団体が協力・連携したアパート入居者に係る情報収集活動の実践【市、単位自治組織】</p>
<p>【役員】 ◆共通 ○役員の担い手不足と高齢化・固定化 ○役員の本来業務が多いうえ、あて職も多く、役員の負担が大きい</p>	<p>◆共通 A 組織の機能や役割等の見直し(役員の役割分担、選出方法、負担軽減策等含む) B 担い手となる人材の確保・育成</p> <p>◆鶴岡市街地 C 学区団体組織等の統合・再編に係る情報交換</p>	<p>◆共通 A 役員の任期・交代・選定方法(公募含む)のあり方検討会の開催【単位自治組織】 A 役員の負担軽減に繋がる効果的な分担制の検討【単位自治組織】 A 広域コミュニティ組織が先導して「地域課題総合調整会議」を開催し、課題解決のための優先順位付け、役割分担等を決める【単位自治組織、広域コ、市】 ※広域コ組織がある地域のみ</p>

		<p>B次世代のリーダー育成を目的とした研修や情報交換会の開催【単位自治組織、市】</p> <p>B女性の力の活用、女性の活躍の場の拡大（女性を役員に登用）【単位自治組織】</p> <p>B若者の活躍の場の拡大【単位自治組織】</p> <p>◆鶴岡共通</p> <p>B町内会役員とPTA・婦人会・体育協会等との交流促進【単位自治組織】</p> <p>◆鶴岡市街地</p> <p>C各種団体・組織の統合・再編に係る情報交換会の開催【単位自治組織、広域コ、市】</p>
<p>【会費・資金】</p> <p>◆共通</p> <p>○会員減少や増加する高齢者世帯の減免等に伴う会費収入減によって単位自治組織の財政運営が難しい</p> <p>○市街地にくらべて会費等の住民負担が重い（住民会費、互助会費、振興会費、公民館費、神社、寺等）※市街地以外共通</p> <p>◆鶴岡市街地</p> <p>○会計支出全体にしめる他団体への負担金の割合が多く、単位自治組織財政運営の負担が大きい</p> <p>○会費未納者が多くなってきている</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域</p> <p>○小規模単位自治組織では会費負担が重くなっている</p>	<p>◆共通</p> <p>A会費のあり方の検討</p> <p>B財政運営の見直し</p> <p>Cコミュニティビジネスを含めた活動資金の確保策の検討</p> <p>◆鶴岡市街地</p> <p>D学区団体組織等の統合・再編に係る情報交換(再)</p>	<p>◆共通</p> <p>A会費のあり方検討会の開催【単位自治組織】</p> <p>B会費収入に見合った事業運営に向けた住民合意に基づく活動の優先順位付けや内容の見直し【単位自治組織】</p> <p>B小規模単位自治組織への支援（継続：鶴岡市住民自治組織総合交付金）【市】</p> <p>B D各種団体・組織の統合・再編の検討【単位自治組織、広域コ、市】(再)※広域コは組織があるところ</p> <p>B単位自治組織運営に係る研修の実施【単位自治組織、市】</p> <p>Cコミュニティビジネスの取り組みに向けた研究活動【単位自治組織】</p>
<p>【組織の規模】</p> <p>◆共通</p> <p>○人口減少、少子高齢化に伴う世帯数の減少によって、単位自治組織の小規模化の進行が懸念される</p> <p>◆朝日地域</p> <p>○子どもが少なく、今後の集落の存続が懸念される</p> <p>◆温海地域</p> <p>○極めて小規模な集落がいくつかあり、今後の集落の存続が懸念される</p> <p>○地理的に離れており、集落組織の統合は難しい</p>	<p>◆共通</p> <p>A将来を見据えた単位自治組織の再編に係る情報交換</p> <p>B周辺単位自治組織との連携</p> <p>C広域コミュニティ組織による機能補完※広域コ組織がある地域のみ</p>	<p>◆共通</p> <p>A単位自治組織の再編・統合への実務的支援と財政支援（継続：統合町内会への鶴岡市住民自治組織総合交付金の経過措置）【市】</p> <p>A B隣接する単位自治組織との情報交換会の開催【単位自治組織】</p> <p>C単位自治組織と広域コミュニティ組織の機能・役割分担会議の開催【単位自治組織、広域コ、市】※広域コ組織がある地域のみ</p> <p>◆櫛引地域</p> <p>C広域コミュニティ組織形成に向けた検討【単位自治組織、市】</p>

<運営上の課題>

現状、問題意識	課題項目	具体的取り組みのアイデア（具体的取り組みを設定するうえで地域資源を活用できるものがあれば記載）※【】は取り組み主体
<p>【組織の役割・機能】</p> <p>◆共通</p> <p>○人口減少、少子高齢化の中でも、特に防災・福祉がしっかりと機能するための組織づくりが必要</p>	<p>◆共通</p> <p>A防災・福祉が機能する組織づくり</p>	<p>◆共通</p> <p>A地域団体組織（広域コミュニティ組織、単位自治組織、学区・地区社協等の団体）による情報交換会の開催、連携組織の立上げ【単位自治組織、広域コ、市】(再)※広域コは組織があるところ</p> <p>A単位自治組織と広域コミュニティ組織との機能・役割分担会議の開催【単位自治組織、広域コ、市】※広域コ組織がある地域のみ</p>
<p>【事業全般/生涯学習】</p> <p>◆共通</p> <p>○参加者が減少、固定化、高齢化している</p> <p>○就労形態の多様化によって、事業の日程調整や参加者の確保が難しい</p> <p>○地域事業の日程が過密になってきている</p> <p>○事業内容がマンネリ化している</p> <p>○人口減少、少子高齢化に伴って実施困難な事業が発生してきている</p> <p>○学校行事やスポーツ少年団の活動が多く、日程調整が難しい</p> <p>◆鶴岡共通</p>	<p>◆共通</p> <p>A事業への参加の呼びかけ</p> <p>B開催日程の見直し、開催形態の工夫</p> <p>C参加者層を意識した魅力的な事業企画立案と実施</p> <p>D単位自治組織事業等の喫緊の課題の洗い出し作業、住民ニーズの把握、事業の優先順位付け</p> <p>E関係団体との協力・連携体制の構築</p> <p>F持続可能な事業運営のための人材育成・確保、資金管理</p> <p>G単位自治組織と広域コミュニティ組織との連携・役割分担※広域コ組織がある地域のみ</p>	<p>◆共通</p> <p>Aあきらめず誘い続ける声かけの実践【単位自治組織】(再)</p> <p>A C多様な媒体を活用した事業周知、年齢層やライフステージを意識したPR活動【単位自治組織】</p> <p>A総会資料等の作り方に工夫をこらし活動方針や活動自体の見える化【単位自治組織】(再)</p> <p>A市職員への地域コミュニティ活動への積極的な参加呼びかけ【市】</p> <p>B C会議の開催形態を工夫する【単位自治組織】(「若い世代が会議に参加しやすいように、同日・同時間に子ども行事を実施し、親は会議に参加、子どもは</p>

<p>○役員の負担が大きく、また、費用の捻出及び参加者確保の面でも生涯学習事業の実施が困難になりつつある、手が回らないという声がある</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域、朝日地域</p> <p>○生涯学習活動については、地域活動センター等の事業に参加すること自体が、活動となっているところが多い</p> <p>◆朝日地域</p> <p>○個々の集落で行ってきた事業が過疎や高齢化の進行で実施困難となることが予想される</p>	<p>H学校事業・スポ少活動との調整</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域、朝日地域</p> <p>I生涯学習活動における地域活動センター等との連携・協力</p>	<p>行事で楽しむ」、「親子行事や祖父母孫行事など、多世代が一緒に参加し、関わることのできる事業の開催」等)</p> <p>B C D 従来行われてきた事業内容の再点検・見直し【単位自治組織】</p> <p>C 単位自治組織の中で事業企画を公募する【単位自治組織】</p> <p>C D 住民ニーズの把握(アンケートの活用など)と、ニーズに沿った事業企画【単位自治組織】</p> <p>C D 知見を共有するための単位自治組織活動報告会の開催【市、単位自治組織】</p> <p>D 単位自治組織の存在意義を確認し問題・課題を共有するワーキングや講演会等の開催【単位自治組織、市】(再)</p> <p>E 分野別に強みを持つ関係団体との事業共催【単位自治組織】</p> <p>F 事業を通じて自分が必要とされている喜びや達成感・生きがい共有できる仕掛けづくり【単位自治組織】</p> <p>F C 人材育成のための研修機会の充実(単位自治組織の若手を対象とした研修会、PTA と連携しての地域人材育成研修会、コミセン職員研修会など)【市】</p> <p>D G 単位自治組織と広域コミュニティ組織との機能・役割分担会議の開催【単位自治組織、広域コ、市】(再) ※広域コは組織があるところ</p> <p>A H 学校やスポーツ少年団との相互の連絡を密にし、年間計画により事業を組み立てるなどの工夫【単位自治組織】</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域、朝日地域</p> <p>I 生涯学習活動において、地域活動センター等と連携しての事業実施【単位自治組織、広域コ】</p> <p>◆朝日地域</p> <p>A 事業内容を精査し、近隣の集落と共同して行うなど実施方法を検討する【単位自治組織】</p>
<p>【福祉／防犯・防災】</p> <p>◆共通</p> <p>○高齢者や要支援者が増加し、会員の高齢化・減少、若者の減少、さらに平日日中の人口減少等、地域の防犯・防災体制(消防団等を含む)を弱体化させる要因が増えてきている</p> <p>○高齢化に伴い、見守りや生活支援(除雪、買い物、通院等)を必要とする高齢者世帯や認知症高齢者等の要支援者が増加しており、加えて要支援者の情報(緊急時の連絡者含む)は把握しにくい</p> <p>○高齢者が振り込め詐欺等の犯罪や悪質訪問販売に巻き込まれるケースが増えてきている</p> <p>○空き家が年々増加しており、防犯、防災上の不安を抱えている</p> <p>○自主防災組織はあるものの、十分な機能を果たし得る体制に至っていないところもある</p> <p>○不審者の情報が寄せられる等、子どもたちの安全・安心の確保が強く求められている</p> <p>○地理的状況により、従来のコミュニティ組織の区域を超えた(地区や地域を超えた)避難も想定される</p> <p>◆鶴岡市街地</p> <p>○住民の動向をリアルタイムに把握することが難しい</p> <p>◆羽黒地域</p> <p>○防犯・防災において、個別受信機が使えなくなり外の防災無線は聞き取れず、今までより情報が得られず心配である</p> <p>◆榎引地域</p> <p>○見守り隊の参加人数が減ってきており、継続するのが難しくなっている</p> <p>◆温海地域</p> <p>○地理的に集落が点在しており、土砂災害により孤立の恐れがあり心配である</p>	<p>◆共通</p> <p>A 要支援者への声掛け・見守り・支援体制の構築</p> <p>B 緊急時や災害時に備えた個人情報の提供に係る理解促進と情報収集(再)</p> <p>C 民生児童委員等との連携による情報伝達・収集力の向上(再)</p> <p>D 振り込め詐欺、悪質訪問販売の対策強化</p> <p>E 空き家の実態把握</p> <p>F 自主防災組織の機能強化</p> <p>G 子どもの見守り体制の構築</p> <p>H 高齢者の生活ニーズ(除雪・買い物・通院等)への対応</p> <p>I 単位自治組織と広域コミュニティ組織との連携・役割分担(再) ※広域コ組織がある地域のみ</p> <p>J 避難先の(避難場所の)コミュニティ組織や自主防災組織との連携</p> <p>◆鶴岡市街地</p> <p>K 隣組等で把握した住民の動向を単位自治組織の上部に伝える伝達手段の確立</p> <p>◆羽黒地域</p> <p>L 防災情報の取得と伝達周知方法の検討</p> <p>◆榎引地域</p> <p>M 見守り隊の活動体制の見直し</p> <p>◆温海地域</p> <p>N 災害時における集落の孤立対策</p>	<p>◆共通</p> <p>A F 災害時要援護者支援計画の策定【単位自治組織】</p> <p>A B 自治組織による要支援者の把握への市の協力(避難行動要支援者個別支援計画等作成支援事業)【市】</p> <p>A 見守り、防災面での女性の力の活用、女性の活躍の場の拡大【単位自治組織】(再)</p> <p>B 緊急時や災害時に備えた住民情報収集の必要性、取扱い方法、活用方法及び活用成果についての説明・情報公開、その情報収集【単位自治組織、市】(再)</p> <p>B アンケートを活用してのコミュニティ活動に必要な住民情報や住民ニーズの収集・把握【単位自治組織】(再)</p> <p>C 単位自治組織、広域コミュニティ組織、民生児童委員、社会福祉協議会の連携による情報収集活動の検討【単位自治組織、広域コ】(再) ※広域コは組織があるところ</p> <p>D 県や市の消費生活センターと連携しての研修会の開催や啓発活動の実施【単位自治組織、市】</p> <p>E 空き家の実態を常時把握する体制づくり【単位自治組織】</p> <p>F 自主防災組織の機能点検【単位自治組織】</p> <p>F J 有事を想定した防災訓練の実施【単位自治組織、広域コ、市】 ※広域コは組織があるところ</p> <p>G 地域住民の防犯意識の啓発活動【単位自治組織】</p> <p>G 学校、保護者、単位自治組織、広域コミュニティ組織、地域団体との連携による「見守り隊」活動の実践【単位自治組織、広域コ、市】</p> <p>H 高齢者の生活ニーズ(支援が必要な人と支援ができる人の情報収集、必要とされる支援内容の洗い出し、高齢者支援のボランティア体制の確立)への対応策の検討【単位自治組織、広域コ】 ※広域コは組織があるところ</p> <p>◆鶴岡共通</p> <p>A I 単位自治組織と広域コミュニティ組織との機</p>

		<p>能・役割分担会議の開催【単位自治組織、広域コ、市】(再)</p> <p>◆鶴岡市街地 K住民動向を隣組単位で把握して単位自治組織の上部に伝達する仕組みの構築【単位自治組織】</p> <p>◆鶴岡郊外地、櫛引地域 F登録の消防団活動協力員への活動協力・参加について、あきらめず誘い続ける声掛けの実践【単位自治組織】</p> <p>◆藤島地域、温海地域 B近隣者による情報の把握【単位自治組織】</p> <p>◆羽黒地域 L防災情報を取得する方法の周知や情報提供方法の検討【市】</p> <p>◆櫛引地域、朝日地域 H除雪パートナーズ等の既存事業の活用【市】 H移送サービスの検討【市】</p> <p>◆櫛引地域 F防災訓練や防災座談会等を開催して防災意識の高揚を図る【市、自主防災組織等】 H買物や通院等を支援する体制構築に向けた検討【市】 M見守り隊の活動体制の見直し【市】</p> <p>◆温海地域 N有事の際の情報伝達システムの確立【市、単位自治組織】</p> <p>◆朝日地域 F自治会内の消防団OBの調査・把握と協力員への参加促進【消防団】 H除排雪サービス体制の事業化検討【市】 H豪雪対策特別支援事業の拡充【市】 H高齢者いきいきパスの拡充【市】 H買い物代行サービスの事業化【市】</p>
<p>【生活環境整備】</p> <p>◆共通 ○会員の高齢化等により、河川清掃や側溝清掃等の共同作業の継続が難しくなっている</p> <p>◆鶴岡市街地 ○アパート入居者に係るごみ処理等のマナー違反</p> <p>◆温海地域 ○毎年、海岸集落は海岸清掃を行っているが漂流物が増え単位集落では対応できない</p>	<p>◆共通 A単位自治組織の状況(年齢構成等)に応じた共同作業の役割・作業分担、作業の簡略化の検討 B協働体制の構築</p> <p>◆鶴岡市街地 Cアパート入居者への単位自治組織ルールの周知徹底</p> <p>◆温海地域 D海岸の漂流ごみ対策</p>	<p>◆共通 A共同作業の在り方の検討【単位自治組織】 B D多様な組織(国、県、市、NPO、企業、ボランティア団体等)による協働体制の検討と実施【市、単位自治組織】</p> <p>◆鶴岡市街地 C関係団体との連携によるアパート家主及び入居者への単位自治組織ルールの徹底【市・単位自治組織】</p> <p>◆朝日地域 A転出者のほか、地域の縁故者等へ要請【単位自治組織】</p>
<p>【財産管理】</p> <p>◆共通 ○自治公民館をはじめ、単位自治組織の財産の維持・管理が負担になっている ○老朽化や耐震対策、高齢化に対応する施設環境整備として、公民館や遊具等の改修が必要となっている</p> <p>◆櫛引地域 ○山林や墓地など単位自治組織等共有財産の所在や境界が不明確なままになっているものがある ○共有財産の歴史や経過がきちんと管理されておらず、役員に引き継がれていくか不安がある</p> <p>◆温海地域 ○有線放送設備の配線等の修繕費が多額で財政的に困っている ○自治会所有している山林の境界がわかる人がいなくなった</p>	<p>◆共通 A自治公民館等の適切な維持・管理 B代替施設等 C整備に係る支援</p> <p>◆櫛引地域 D単位自治組織等共有財産に関する境界と歴史経過の明確化</p> <p>◆温海地域 E情報伝達システムの確立 F単位自治組織所有の山林、土地等の明確化</p>	<p>◆共通 A C各種助成金や協賛金等の外部資金の獲得、獲得に向けた情報収集【単位自治組織、市】 A将来を見通した財政運営の検討(積立等)【単位自治組織】 B空き家等の活用の検討【単位自治組織】 C公民館類似施設整備に係る支援(継続:公民館類似施設整備事業補助金)【市】</p> <p>◆櫛引地域 D地区共有財産に関する境界・歴史経過の確認と引継ぎ【単位自治組織】</p> <p>◆朝日地域 A長期的な修繕計画の策定【単位自治組織】</p> <p>◆温海地域 E情報伝達システムの研究・検討【市、単位自治組織】 F単位自治組織所有の山林、土地等の財産台帳の整備【単位自治組織】</p>
<p>【行政との関わり】</p> <p>◆共通 ○行政だけや地域だけでは、地域課題の解決は、なかなか進まない ○各種の調査報告とりまとめ等、行政からの多様な依頼業務(文書配布、会議、役職推薦、募金等)が町内会の負担となっている(行政</p>	<p>◆共通 A地域と行政による課題解決の仕組みづくり B行政から町内会に依頼される仕事の洗い出しや整理・統合</p>	<p>◆共通 A地域と行政による課題解決の仕組みづくりの検討を行う場づくり【市、広域コ、単位自治組織】 A地区担当職員による行政側の情報提供、地域課題の情報収集、解決に向けた取り組み支援【市】 B行政が単位自治組織に依頼している仕事の洗い出</p>

の下請けとの苦情が多く聞かれる)		し調査の実施、整理・統合に向けた検討【市】 B行政依頼業務に係る財政的支援の継続(継続:鶴岡市住民自治組織総合交付金)【市】
【その他】 ◆共通 ○地域コミュニティが抱える課題やその解決策についての共有が図られていない	◆共通 A地域コミュニティが抱える課題やその解決策についての情報共有	◆共通 A地域課題の解決方策等の事例をHPに整理し発信【市】

(1) 自治組織が抱える組織上・運営上の課題

②広域コミュニティ組織

<組織上の課題>

現状、問題意識	課題項目	具体的取り組みのアイデア (具体的取り組みを設定するうえで地域資源を活用できるものがあれば記載) ※【】は取り組み主体
<p>【市民の意識】</p> <p>◆共通 なし</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域、朝日地域 ○広域コミュニティ組織への理解が進んでいない</p>	<p>◆共通 なし</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域、朝日地域 A広域コミュニティ組織への理解促進</p>	<p>◆共通 なし</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域、朝日地域 A広域コミュニティ組織の意義と活動内容のPR【広域コ】 A広域コミュニティ組織への理解促進を目的とした研修会の開催【市、広域コ】</p>
<p>【会員】</p> <p>※会員は学区に所属する単位自治組織の会員で構成されていることから、単位自治組織の組織上の課題と同じ</p>	<p>※会員は学区に所属する単位自治組織の会員で構成されていることから、単位自治組織の組織上の課題と同じ</p>	<p>※会員は学区に所属する単位自治組織の会員で構成されていることから、単位自治組織の組織上の課題と同じ</p>
<p>【役員】</p> <p>◆共通 ○構成役員は単位自治組織や団体からのあて職が多く役職が重複する等、負担が大きい ○役員が一斉に交代するところや、あて職の場合には所属団体の任期で変わるところもあり、地域の問題・課題に積極的に動けない状況にある</p>	<p>◆共通 A役員の選任方法の検討 B担い手となる人材の確保・育成(再)</p> <p>◆鶴岡市街地 C組織の機能や役割等の見直し(役員の役割、分担、負担軽減策等含む)(再)</p>	<p>◆共通 A役員の任期・交代・選定方法(公募含む)のあり方検討会の開催【広域コ】(再) B女性の力の活用、女性の活躍の場の拡大(女性を役員に登用)【単位自治組織、広域コ】(再) B若者の活躍の場の拡大【広域コ】(再) B人材育成のための研修機会の充実(町内会若手を対象とした研修会、PTAと連携しての地域人材育成研修会、コミセン職員研修会など)【市】(再)</p> <p>◆鶴岡市街地 A C地域の現状に応じた組織体制の見直しを行い、組織及び活動の活性化に繋げる【広域コ】</p>
<p>【会費・資金】</p> <p>◆共通 なし</p> <p>◆鶴岡郊外地 ○会員減少による資金不足が心配される</p> <p>◆藤島地域 ○新たな事業に取り組む時には財源確保が必要となる</p> <p>◆羽黒地域 ○住民からの会費がない組織においては、事業運営にゆとりがない</p>	<p>◆共通 なし</p> <p>◆鶴岡郊外地 A会費のあり方の検討(再) B財政運営の見直し(再)</p> <p>◆鶴岡郊外地、藤島地域、羽黒地域 C会費制の導入やコミュニティビジネスを含めた活動資金の確保</p>	<p>◆共通 なし</p> <p>◆鶴岡郊外地、藤島地域、羽黒地域 A会費のあり方検討会の開催【広域コ】(再) B住民合意に基づく活動の優先順位付けや内容の見直し【広域コ】(再)</p> <p>◆鶴岡郊外地、羽黒地域 Cコミュニティビジネスの取り組みに向けた研究活動【広域コ】(再)</p> <p>◆羽黒地域 C各種助成金等活用方法の研究【広域コ】</p>
<p>【組織の規模・エリア】</p> <p>◆共通 ○1つの小学校区内に、複数の広域コミュニティ組織が存在しているところもあり(その逆もあり)、活動への思い入れ等に温度差が生じる等、一体感を作りあげていくことが難しい</p>	<p>◆共通 A広域コミュニティ組織内の情報共有・連携強化 B広域コミュニティ組織と学校、PTAとの連絡体制づくり</p>	<p>◆共通 A交流や話し合いの機会を持つ【広域コ】 Aコミュニティ広報紙(コミュニティだより)の充実による情報発信力の強化【広域コ】(再) B広域コミュニティ組織と学校、PTAとの連絡体制の強化【広域コ】</p>

<p>【単位自治組織との関わり】</p> <p>◆共通 ○単位自治組織と広域コミュニティ組織との役割分担が明確になっていない ○少子高齢化に伴い、単位自治組織の機能は縮小傾向にある</p> <p>◆鶴岡市街地 ○単位自治組織の統廃合は広域コミュニティ組織から主導してほしいとの声がある</p>	<p>◆共通 A 単位自治組織と広域コミュニティ組織の連携、事業の範囲と役割の調整・明確化 B 広域コミュニティ組織による単位自治組織への機能補完、適切な支援やアドバイス</p> <p>◆鶴岡市街地 C 将来を見据えた隣組や単位自治組織の再編の検討</p>	<p>◆共通 A B C 単位自治組織と広域コミュニティ組織の機能・役割分担会議の開催【単位自治組織、広域コ、市】(再)</p>
<p>【他の地域組織との関わり】</p> <p>◆共通 なし</p> <p>◆鶴岡市街地、藤島地域 ○各種団体・協議会が多く、同じ顔ぶれの広域コミュニティ組織区域内会合も多く、また、会合自体も多い ○各種団体同士の情報交換や連携が十分ではない</p> <p>◆羽黒地域 ○地域の区長会や地区の区長会等との関係性が未調整</p>	<p>◆共通 なし</p> <p>◆鶴岡市街地、藤島地域 A 広域コミュニティ組織区域内にある様々な組織の整理 B 広域コミュニティ組織区域内団体組織による情報交換や連携の場づくり</p> <p>◆羽黒地域 C 全域の区長会や地区の区長会等と広域コミュニティ組織との関係性の構築</p>	<p>◆共通 なし</p> <p>◆鶴岡市街地 A 各種団体・組織の統合・再編の検討【単位自治組織、広域コ、市】(再) A 各種団体の事務局を広域コミュニティ組織に集約する等、組織体制の見直しや団体同士の連携を進め地域づくりに活かす【広域コ】</p> <p>◆鶴岡市街地、藤島地域 A B 各種団体組織(広域コミュニティ組織、単位自治組織、学区社協等の団体)による情報交換会の開催、連携に向けた検討【単位自治組織、広域コ、市】</p> <p>◆羽黒地域 C 広域コミュニティ組織連絡体制の検討【市、広域コ】</p>
<p>【その他】</p> <p>◆共通 なし</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域 ①広域コミュニティ組織間の情報を共有したい</p>	<p>◆共通 なし</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域 A 広域コミュニティ組織間の連絡体制づくり</p>	<p>◆共通 なし</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域 A 広域コミュニティ組織連絡協議会の設立【広域コ】</p>

<運営上の課題>

現状、問題意識	課題項目	具体的取り組みのアイデア (具体的取り組みを設定するうえで地域資源を活用できるものがあれば記載) ※【】は取り組み主体
<p>【組織の役割・機能】</p> <p>◆共通 ○人口減少、少子高齢化の中でも、特に防災・福祉がしっかりと機能するための組織づくりが必要(再) ○単位自治組織の機能維持が難しくなっており、単位自治組織の機能補完や広域的課題の解決、生涯学習活動の推進等の取り組みに期待が高まっている</p> <p>◆鶴岡市街地 ○単位自治組織と広域コミュニティ組織との連携・役割分担により、役員等の負担を少なくしながら、より効果の上がる事業活動が求められている</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域、朝日地域 ○これまで地区公民館事業として行っていた事業はあるが、新たに取り組むべき活動が手探り状態である</p> <p>◆朝日地域 ○これまで地域全体で取り組んできた事業は、広域コミュニティ組織の事業として取り組み難い</p>	<p>◆共通 A 防災・福祉が機能する組織づくり(再) B 地域課題を踏まえた単位自治組織と広域コミュニティ組織の連携・役割分担 C 課題解決型広域コミュニティ組織運営への転換・実践 D 住民の声を反映した地域ビジョンづくり E 地域における人的ネットワークに資する拠点性の確保と情報発信力の強化 F 生涯学習活動の推進</p> <p>◆朝日地域 G 広域コミュニティ組織の連合組織による指導力・調整力の発揮</p>	<p>◆共通 A B C F 広域コミュニティ組織が先導して「地域課題総合調整会議」を開催し、課題解決のための優先順位付け、役割分担等を決める【広域コ、単位自治組織】(再) A B C 各種団体・組織の統合・再編の検討【単位自治組織、広域コ、市】(再) C 地域コミュニティの実態を把握するための調査の継続実施【市・広域コ】 D 住民の声を反映した地区計画の策定【広域コ】 E 市民が気軽に集まれる場をつくるための検討会議の開催【広域コ】 E コミュニティ広報紙(コミュニティだより)の充実による情報発信力の強化【広域コ】(再) E 各種団体組織(広域コミュニティ組織、単位自治組織、学区社協等の団体)による情報交換会の開催、連携に向けた検討【単位自治組織、広域コ、市】(再)</p> <p>◆朝日地域 G 広域コミュニティ組織の連合組織への支援体制の構築【市、広域コ】</p>
<p>【事業全般/生涯学習】</p> <p>◆共通 ○参加者が固定化、高齢化、減少している(再) ○地域事業の日程が過密になっている(再) ○事業がマンネリ化、固定化、他の地域事業と重複している ○事業が多く事務局の負担が増加している ○事業を実施する際の担い手不足 ○単位自治組織の機能維持が難しくなっており、広域コミュニティ組織による生涯学習活動に期待が高まっている</p>	<p>◆共通 A 事業への参加の呼びかけ(再) B 広域コミュニティ組織の調整機能の発揮 C 参加者層を意識した魅力的な事業企画立案と実施(再) D 組織や事業の統合・再編 E 関係団体、NPO、志縁団体との協力・連携体制の構築 F 地域課題を踏まえた単位自治組織と広域コミュニティ組織の連携・役割分担(再)</p>	<p>◆共通 A G あきらめず誘い続ける声かけの実践【広域コ】(再) A C G 多様な媒体を活用した事業周知、年齢層やライフステージを意識したPR活動【広域コ】(再) A 総会資料等の作り方に工夫をこらし活動方針や活動自体の見える化【広域コ】(再) B F 広域コミュニティ組織と単位自治組織が協議して事業の優先順位を決め、優先度の高い事業から日程を決める【広域コ、単位自治組織】</p>

<p>◆鶴岡共通</p> <p>○市民により開かれた広域コミュニティ組織運営が求められている</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域、朝日地域</p> <p>○地区公民館として取り組んできた事業の継続と発展</p>	<p>G 新たな人材の掘り起し</p> <p>H 持続可能な事業運営のための人材育成・確保、資金管理(再)</p> <p>I 生涯学習推進員の役割・位置づけ・活用方策の整理</p> <p>J 参加しやすい移動手段の確保</p> <p>◆鶴岡共通</p> <p>J 市民が気軽に集まれる場づくり</p> <p>K 子どもから高齢者まで事業等への参加意識の醸成</p>	<p>C G 年齢層やライフステージの観点から通常事業の見直し【広域コ】</p> <p>D 事業ごとに最適な担い手(単位自治組織なのか広域コミュニティ組織なのか、あるいは全くの別組織なのか)を決め、事業を統合・再編する【広域コ】</p> <p>E 分野別に強みを持つ関係団体との事業共催【広域コ】(再)</p> <p>F 単位自治組織と広域コミュニティ組織の機能・役割分担会議の開催【広域コ、単位自治組織】(再)</p> <p>F H 地域課題解決に向けた取り組み支援(継続:住民自治組織ステップアップ事業補助金)【市】</p> <p>H 広域コミュニティ組織の運営・活動支援(継続:広域コミュニティ組織運営・地域づくり交付金)【市】</p> <p>H 外部資金の獲得【広域コ】(再)</p> <p>I 生涯学習推進員の意識づけと研修活動や情報交換【市】</p> <p>I 生涯学習推進員の活動の場の拡大【広域コ】</p> <p>J 事業に参加しやすい参加者の送迎等の検討【広域コ】</p> <p>◆鶴岡共通</p> <p>J 市民が気軽に集まれる場を作るための検討会議の開催【広域コ】</p> <p>K コミュニティ広報紙(コミュニティだより)の充実による情報発信力の強化【広域コ】(再)</p> <p>◆藤島地域</p> <p>G ワークショップによる人材の掘り起しと住民ニーズの把握【広域コ】</p>
<p>【福祉/防犯・防災】</p> <p>◆共通</p> <p>○高齢者や要支援者が増加し、会員の高齢化・減少、若者の減少、さらに平日日中の人口減少等、地域の防犯・防災体制(消防団等を含む)を弱体化させる要因が増えてきている(再)</p> <p>○高齢化に伴い、見守りや生活支援を必要とする高齢者世帯や認知症高齢者等の要支援者が増加しており、加えて要支援者の情報(緊急時の連絡者含む)は把握しにくい(再)</p> <p>○空き家が年々増加しており、防犯、防災上の不安を抱えている(再)</p> <p>○不審者の情報が寄せられる等、子どもたちの安全・安心の確保が強く求められている(再)</p> <p>○安全・安心に係る広域コミュニティ組織、単位自治組織の役割分担ができていない(再)</p> <p>◆鶴岡郊外地</p> <p>○消防団の管轄区域がコミュニティ活動の区域と一致していないため、消防団と広域コミュニティ組織との連携が難しく、自主防災活動を進めて行くうえでの障壁となっている</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域</p> <p>○緊急時に、単位自治組織と広域コミュニティ組織、市の3者の情報伝達方法をより確立していく必要がある</p>	<p>◆共通</p> <p>A 要支援者への声掛け・見守り・支援体制の構築(再)</p> <p>B 緊急時や災害時に備えた個人情報の提供に係る理解促進と情報収集(再)</p> <p>C 学区内組織や民生児童委員等との連携による情報伝達・収集力の向上(再)</p> <p>D 空き家の実態把握(再)</p> <p>E 子どもの見守り体制の構築(再)</p> <p>F 自主防災組織の充実</p> <p>G 単位自治組織、広域コミュニティ組織の連携・役割分担による安全・安心の確保</p> <p>H 関係団体との協力・連携体制の構築(再)</p> <p>I 高齢者の生活ニーズ(除雪・買い物・通院等)への対応(再)</p> <p>◆鶴岡共通</p> <p>J 消防団OBの活用(消防団活動協力員の強化含む)</p> <p>◆鶴岡市街地</p> <p>K 高齢者の孤立予防対策</p> <p>◆鶴岡郊外地</p> <p>L 消防団と広域コミュニティ組織が連携できる体制づくり</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域</p> <p>M 緊急時の情報伝達手順の確立</p>	<p>◆共通</p> <p>A 単位自治組織と連携した災害時要援護者支援計画の策定【広域コ、単位自治組織】(再)</p> <p>A B 自治組織による要支援者の把握への市の協力(避難行動要支援者個別支援計画等作成支援事業)【市】(再)</p> <p>A F G 単位自治組織と広域コミュニティ組織に市も加わっての機能・役割分担会議の開催【広域コ、単位自治組織、市】</p> <p>B 緊急時や災害時に備えた住民情報収集の必要性、取扱い方法、活用方法及び活用成果についての説明・情報公開、その情報収集【広域コ、単位自治組織、市】(再)</p> <p>B アンケートを活用してのコミュニティ活動に必要な住民情報や住民ニーズの収集・把握【広域コ、単位自治組織】(再)</p> <p>C H 単位自治組織・広域コミュニティ組織、民生児童委員・社会福祉協議会の連携による情報収集活動の実践【広域コ、単位自治組織】(再)</p> <p>D 単位自治組織と情報を共有する体制づくり【広域コ・単位自治組織】</p> <p>E G H 学校、保護者、単位自治組織、広域コミュニティ組織、地域団体との連携による「見守り隊」活動の実践【単位自治組織、広域コ】(再)</p> <p>F G H 関係団体等との協働による防災訓練の実施【広域コ】</p> <p>I 高齢者の生活ニーズ(支援が必要な人と支援ができる人の情報収集、必要とされる支援内容の洗い出し、高齢者支援のボランティア体制の確立)への対応策の検討【広域コ、単位自治組織】(再)※広域コは組織があるところ</p> <p>◆鶴岡共通</p> <p>F H J 登録の消防団活動協力員への活動協力・参加について、あきらめず誘い続ける声掛けの実践【広域コ、単位自治組織】(再)</p> <p>I 高齢者の生活ニーズを踏まえ、持続可能な課題解決の手法として、コミュニティビジネスの取り組みに向けた研究活動【広域コ】(再)</p> <p>◆鶴岡郊外地</p> <p>L 消防団と広域コミュニティ組織との連携に向けた情報交換会の開催【広域コ】</p> <p>◆藤島地域</p>

		<p>AM防災訓練時に緊急時の情報伝達訓練をあわせて実施【広域コ】</p> <p>G各単位自治組織の状況を把握し、広域コミュニティ組織で取り組むべき課題の整理【広域コ】</p> <p>◆羽黒地域</p> <p>M防災情報無線やメール配信などによる情報伝達、情報収集方法の検討【広域コ、市】</p> <p>◆朝日地域</p> <p>F自治会内の消防団OBの調査・把握と協力員への参加促進【消防団】(再)</p> <p>I除排雪サービス体制の事業化検討【市】(再)</p> <p>I豪雪対策特別支援事業の拡充【市】(再)</p> <p>I高齢者いきいきパスの拡充【市】(再)</p> <p>I買い物代行サービスの事業化【市】(再)</p> <p>I除雪パートナーズ等の既存事業の活用【市】(再)</p> <p>I移送サービスの検討【市】(再)</p>
<p>【施設】</p> <p>◆共通</p> <p>○施設老朽化等の問題を抱えるコミュニティ(防災)センター等がある</p> <p>○今後増加する高齢者や子育て世代に配慮した利用しやすいコミュニティ(防災)センター等の施設環境が求められる</p> <p>○希望日に施設借用予約が取れないとの声がある</p> <p>◆朝日地域</p> <p>○地域全域の団体(サークルなど)等に対して、利便性が公民館より低下している</p>	<p>◆共通</p> <p>A老朽化等の問題を抱えるコミュニティ(防災)センターの施設環境の改善、施設機能の充実</p> <p>Bコミュニティ(防災)センターのバリアフリー化の推進</p> <p>C施設利用受付・貸出方法の見直し</p>	<p>◆共通</p> <p>A Bコミュニティ(防災)センターにおける老朽化対策の計画的な実施、施設機能整備、バリアフリー化の推進、駐車場の拡張【市】</p> <p>C施設利用受付・貸出方法の再検討【市】</p>
<p>【他の地域組織との関わり】</p> <p>◆共通</p> <p>なし</p> <p>◆鶴岡地域</p> <p>○コミセンに人的ネットワークに資する拠点性が求められている</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域</p> <p>○単位自治組織の連合組織の役員が、あて職で広域コミュニティ組織の役員を担う等、負担が増大している</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域、朝日地域</p> <p>○地域全域で構成される組織が多く、広域コミュニティ組織と連携しにくい</p>	<p>◆共通</p> <p>なし</p> <p>◆鶴岡市街地</p> <p>Aコミセンの地域における人的ネットワークに資する拠点性の確保と情報発信力の強化(再)</p> <p>B学区団体等と広域コミュニティ組織との連携強化</p> <p>◆鶴岡市街地、羽黒地域</p> <p>C広域コミュニティ組織職員や役員、リーダーの人材育成</p> <p>◆藤島地域</p> <p>D広域コミュニティ組織区域内にある様々な組織の整理及び簡素化を図る(再)</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域</p> <p>E地域全域で構成される組織と広域コミュニティ組織との連携</p> <p>◆朝日地域</p> <p>F広域コミュニティ組織の連合組織による指導力・調整力の発揮(再)</p>	<p>◆共通</p> <p>なし</p> <p>◆鶴岡共通</p> <p>A B広域コミュニティ組織における住民活動の場を広げるコーディネート機能の発揮【広域コ】</p> <p>C人材育成のための研修機会の充実(単位自治組織若手を対象とした研修会、PTAと連携しての地域人材育成研修会、コミセン職員研修会など)【市】(再)</p> <p>◆藤島地域</p> <p>D広域コミュニティ組織と連携し、組織の整理・統合の検討【広域コ】</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域</p> <p>E地域全域で構成される組織と広域コミュニティ組織との連絡調整会議の開催【広域コ】</p> <p>◆羽黒地域</p> <p>Cあて職に頼らない役員人材の発掘と育成【広域コ、市】</p> <p>◆朝日地域</p> <p>F広域コミュニティ組織の連合組織による支援体制の構築【市、広域コ】</p>
<p>【行政との関わり】</p> <p>◆共通</p> <p>○行政へ相談しても地域課題の解決が進まない不満がある</p> <p>○地域の諸問題解決のため、住民と行政の橋渡し役として、広域コミュニティ組織に寄せる期待が高まっている</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域、朝日地域</p> <p>○広域コミュニティ組織が立ち上がったばかりであり、行政からの人的支援を必要としている</p>	<p>◆共通</p> <p>A広域コミュニティ組織と行政の信頼関係の構築</p> <p>B地域と行政による課題解決の仕組みづくり(再)</p> <p>C住民と行政の橋渡し機能構築</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域、朝日地域</p> <p>D広域コミュニティ組織の人材育成</p>	<p>◆共通</p> <p>A B C地域と行政による課題解決の仕組みづくりの検討を行う場づくり【市、広域コ、単位自治組織】(再)</p> <p>A B C地区担当職員による行政側の情報提供、地域課題の情報収集、解決に向けた取り組み支援【市、単位自治組織、広域コ】(再)</p> <p>B D地域課題解決に向けた研修会の開催【市、広域コ】</p>

(2) 地域(住民)が抱える課題

現状、問題意識	課題項目	具体的取り組みのアイデア (具体的取り組みを設定するうえで地域資源を活用できるものがあれば記載) ※【】は取り組み主体
<p>【地域連帯感の希薄化、帰属意識の低下】</p> <p>◆共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ○隣近所の付き合いが希薄になった ○地域への帰属意識が希薄になった ○職業の多様化による結束力の弱体化(再) ○農業等、地域で一体となって取り組む産業が衰退し、繋がりが少なくなった 	<p>◆共通</p> <ul style="list-style-type: none"> A 近隣関係の再構築(再) B 世代間交流の推進(再) C 地域と子どものつながりの確保 <p>◆朝日地域</p> <ul style="list-style-type: none"> D スポーツ事業など若者参加型の事業の推進 	<p>◆共通</p> <ul style="list-style-type: none"> A 笑顔で挨拶を交わす取り組みの実践【単位自治組織】(再) A 近隣が気軽に話し合える雰囲気や場づくり(隣組座談会など)【単位自治組織】(再) B 各世代が単位自治組織活動に参加しやすい雰囲気や場づくり【単位自治組織】(再) C 地域の子どもの郷土愛を育む地域教育活動の実践【単位自治組織、市】(再) C 地域コミュニティ組織で子どものころから地域に愛着を持てるような機会の提供【単位自治組織、広域コ、市】※広域コは組織があるところ C 出来る限り地域事情に配慮した学校運営の実践【市】(再) <p>◆朝日地域</p> <ul style="list-style-type: none"> A D 近隣自治会または広域コミュニティ組織との共催によるスポーツ大会の開催と参加【単位自治組織、広域コ】
<p>【少子化の進展(子どもの減少)、子育て環境の変化】</p> <p>◆共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ○核家族や一人親の家庭では、子育てや地域活動への負担が大きい ○子どもの通学の安全確保(少子化で帰りが一人のところもある) ○子育ての孤立化 <p>◆鶴岡郊外地、羽黒地域、朝日地域、温海地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ○少子化に伴う小学校の再編が進み、地域への様々な影響が心配される <p>◆温海地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ○少子化により子ども会活動が停滞し、自然を体験する場が少なくなった 	<p>◆共通</p> <ul style="list-style-type: none"> A 地域で子どもを育てる意識醸成と活動推進 B 子どもの見守り対策の推進 C 子育てで家庭と地域との繋がりの確保 <p>◆鶴岡郊外地、羽黒地域、櫛引地域、朝日地域、温海地域</p> <ul style="list-style-type: none"> D 地域と子どもとの繋がりの確保 <p>◆温海地域</p> <ul style="list-style-type: none"> E 子どもの自然体験の推進 	<p>◆共通</p> <ul style="list-style-type: none"> A D 児童居住地の放課後児童クラブや放課後子ども教室等の場の確保【市、広域コ】※広域コは組織があるところ A B 学校、保護者、単位自治組織、広域コミュニティ組織、地域団体との連携による「見守り隊」活動の実践【単位自治組織】(再) C 育児サークル等、地域の中で子育てする環境づくり【市、広域コ、単位自治組織】 <p>◆温海地域</p> <ul style="list-style-type: none"> E 子どもの自然体験事業の実践【市、単位自治組織】
<p>【晩婚化、未婚化の進展】</p> <p>◆共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ○晩婚、未婚が増えており、将来的に地域コミュニティに与える影響が心配される ○中高年層の未婚者が多い ○世話焼きの活動や結婚したい人を地域で後押しする環境が衰退している 	<p>◆共通</p> <ul style="list-style-type: none"> A 結婚支援 B 地域・自治会等で出会いの機会創出 C 世話焼き・仲人活動の環境づくり 	<p>◆共通</p> <ul style="list-style-type: none"> A B 婚活事業の継続実施【市、広域コ】※広域コは組織があるところ C つるおか婚シェルジュの理解促進、活動の充実【市、広域コ、単位自治組織】 <p>◆櫛引地域</p> <ul style="list-style-type: none"> C 地域と連携しながら結婚を後押しする環境づくり【市、単位自治組織】
<p>【若者の流出】</p> <p>◆共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ○就労の場が少なく若者が流出している <p>◆藤島地域、朝日地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農業や商業など家業を継いでも生活が成り立たず、勤めるにしても就労の場が少ないため、後継者が流出している <p>◆羽黒地域、櫛引地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農業世帯の後継者が少ない <p>◆温海地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ○結婚や子どもの小学校入学を契機に市街地へ転出するケースがある 	<p>◆共通</p> <ul style="list-style-type: none"> A 地域資源を活用した雇用の創出 B 移住・定住促進(再) <p>◆羽黒地域、櫛引地域</p> <ul style="list-style-type: none"> C 農業環境の改善 D 就農者への支援 <p>◆温海地域</p> <ul style="list-style-type: none"> E 転出の防止対策 	<p>◆共通</p> <ul style="list-style-type: none"> A コミュニティビジネスの取り組みに向けた研究活動【広域コ、単位自治組織】(再)※広域コは組織があるところ B E 首都圏等における地元出身者との交流イベントの開催と地元PRの実施【広域コ、市】 B 新しい住民を受け入れる体制づくり(住民自治組織のルールを説明、気軽に参加できるイベントを開催する等)【単位自治組織、広域コ】 <p>◆羽黒地域</p> <ul style="list-style-type: none"> C 畑地の除れき【市】 D 農業体験や農業研修生の受け入れ【市】 <p>◆羽黒地域、櫛引地域</p> <ul style="list-style-type: none"> C 新規就農アドバイザーによる支援【市】 <p>◆櫛引地域</p> <ul style="list-style-type: none"> B 空き家利用によるUターン・Iターン等移住希望者の定住促進【市、単位自治組織】(再) D 若手農業者による研究グループの組織化支援【市】 <p>◆温海地域</p> <ul style="list-style-type: none"> E 教育や子育て環境の整備【市、単位自治組織】

<p>【空き家の増加】</p> <p>◆共通 ○空き家が増えている ○管理不良の空き家による周辺環境への悪影響がある</p> <p>◆藤島地域 ○空き家の増加で有害鳥獣の被害が増加している</p> <p>◆羽黒地域 ○空き家の増加による防災や衛生上の問題の増加(倒壊の恐れ、草刈り放置による害虫の発生、火災の心配)</p> <p>◆温海地域 ○土地も含め空き家も売却したいが相手方が見つからない現状である ○高齢者単独世帯が多く、所有者が亡くなった場合、近親者が遠方に転出して連絡が取りづらかったり、相続権の問題などで管理者が特定できないケースが多い</p>	<p>◆共通 A 空き家の有効活用・利用促進 B 空き家の適正管理</p>	<p>◆共通 A 空き家バンクへの登録を推進し、移住希望者や利用希望者への的確な情報提供を行うことで、その有効活用を図る【NPO 法人つるおかランド・バンク、市、単位自治組織】 A B 市と自治組織の協力による空き家の実態把握【市、単位自治組織】 A B 市への情報提供や通報【単位自治組織】 B 法及び市条例に基づく適正管理の働きかけ及び応急措置等の実施【市】</p> <p>◆櫛引地域 A B 地区担当職員の活用と単位自治組織との情報共有と協力体制の推進【市、単位自治組織】</p> <p>◆櫛引地域 A 空き家利用による U ターン・I ターン等移住希望者の定住促進【市、単位自治組織】(再)</p>
<p>【地域伝統芸能文化の継承】</p> <p>◆共通 ○担い手が不足し、伝統芸能の継承に不安を抱えている</p> <p>◆鶴岡郊外地 ○神社等への思い入れが薄くなってきている ○学校の再編によって地域に小学校が無くなったため、地域行事への子どもの参加に支障をきたしている、地域行事と学校の連携が十分に図られていない</p> <p>◆温海地域 ○伝統芸能・祭典が数日にわたって行われる際、会社から休暇がもらえない場合がある ○祭典等で羽織・袴・理容・美容等に係る経費が負担になっている ○高齢化により途絶えてしまった伝統芸能文化も多い</p>	<p>◆共通 A 担い手となる人材の確保・育成(再) B 伝統芸能文化への理解促進と情報発信 C 地域伝統行事へ参加しやすい環境づくり D 伝統芸能文化の記録保存</p> <p>◆鶴岡郊外地 E 出来る限り地域事情に配慮した学校運営(再) F 特に幼少期における伝統芸能文化への理解促進</p> <p>◆温海地域 G 祭典等への参加体制の検討 H 祭典の工夫と簡素化</p>	<p>◆共通 A 運営主体を若い世代に任せ、ベテラン世代は不備・不足を補う役を担いながら、若い人材の確保や参加しやすい環境づくりを目指す【単位自治組織】 B C E F 小さい頃から地域の伝統行事への理解を促すような機会の提供【単位自治組織、市】 C G 出来る限り地域事情に配慮した学校運営の実践【市】(再) C H 開催日の変更の検討【単位自治組織】 D 過去に演じられた映像や唄などの音声記録を劣化、紛失しないうちにデジタルデータにて記録保存を行う【単位自治組織】</p>
<p>【地域団体の活力低下、多様化】</p> <p>◆共通 ○地域団体において、会員の減少、リーダーが育たない、活動停滞、組織の解散といった問題が生じている ○多種多様なサークル等はあるが、それらが地域の活性化に繋がっていない ○価値観や生活様式が多様化しており、地域団体に所属する必要性が感じられなくなっている</p>	<p>◆共通 A 地域活動の必要性や楽しさを伝える B 地域リーダーとなる人材の確保・育成 C 担い手の確保</p>	<p>◆共通 A C 事業を通じて自分が必要とされている喜びや達成感・生きがいを共有できる仕掛けづくり(支援含む)【各種団体、広域コ】(再) ※広域コは組織があるところ A C 団体活動の PR【各種団体】 A C 各種団体同士の連携や交流を推進し活動の活性化に繋げる(コーディネート含む)【各種団体、広域コ】 ※広域コは組織があるところ B 人材育成のための研修機会の充実(住民会若手を対象とした研修会、PTA と連携しての地域人材育成研修会、コミセン職員研修会など)【市】(再)</p>
<p>【公共交通の不便さ】</p> <p>◆共通 ○バスの運行本数が少ない、通らない集落もあり、特に高齢者は通院、買い物等が不便である ※市街地以外共通</p> <p>◆温海地域 ○バス利用が減少していることで、いつバス事業者から運行廃止されるか不安</p>	<p>◆共通 A 市街地への移動手段の確保※市街地以外共通</p> <p>◆温海地域 B バスに替る交通手段の確保</p>	<p>◆共通 A 移動手段の検討【市】</p> <p>◆温海地域 B バスに替る交通機関の検討【市、企業、NPO】</p>
<p>【その他】</p> <p>◆共通 ○野生動物による鳥獣被害が発生し、耕作意欲をなくす農家が増えている</p> <p>◆藤島地域、温海地域 ○農家が少なくなり、農業用水路の管理や、農業生産組合、機械利用組合の存続も難しくなってきた</p> <p>◆櫛引地域 ○櫛引の特色である果樹栽培などの優れた技術</p>	<p>◆共通 A 鳥獣被害の回避</p> <p>◆藤島地域 B 農業後継者の確保</p> <p>◆櫛引地域 C 果樹栽培の中核的な担い手の育成</p> <p>◆朝日地域 D 猟友会員の育成と駆除体制の確保 E 特に市街地住民の、山菜や私有地山林に対する</p>	<p>◆共通 A 行政や単位自治組織、関係機関と連携した鳥獣被害対策の実施【市】</p> <p>◆藤島地域 A 広域コミュニティ組織単位で空き家と有害鳥獣駆除について研修会の開催【広域コ】 B 農家の所得向上対策の推進による農業後継者の確保【市】</p> <p>◆櫛引地域</p>

<p>の継承が途絶えることへの不安がある</p> <p>◆朝日地域</p> <p>○他所から来ての山菜盗難が多い</p> <p>○撤退や廃業により近場に店舗がなくなり不便</p> <p>○敬老会や運動会等の複数の単位自治組織による共催事業について連携・協力体制の低下がみられる</p> <p>◆温海地域</p> <p>○山間部の医療機関がなくなり高齢者の通院が難しくなった</p>	<p>認識不足の解消に向けた対策等の検討</p> <p>F 宅配や移動販売の利用</p> <p>G 単位自治組織への問題提起と体制強化</p> <p>◆温海地域</p> <p>H 農家の所得向上</p> <p>I 耕作放棄地の防止</p> <p>J 中山間部の医療体制確保</p>	<p>C 担い手育成の仕組みづくりと支援【市】</p> <p>C 有利な情報の提供【市】</p> <p>◆朝日地域</p> <p>A D 若者の猟友会員への勧誘【単位自治組織】</p> <p>E 広報と啓発【市】</p> <p>F 買い物代行サービスの事業化【市】(再)</p> <p>G 広域コミュニティ組織の体制を活用した参加促進【広域コ】</p> <p>◆温海地域</p> <p>H 農家の所得向上対策の推進【市、関係団体等】</p> <p>I 耕作放棄地の防止対策【市、関係団体等】</p> <p>J 中山間部の医療体制の構築【市、医療団体】</p> <p>J 隣近所の見守り体制の構築【単位自治組織、市】</p>
--	--	---

地域コミュニティ施策推進体制の現状と取組みの方向性

地域コミュニティ活動は広く市民生活に関わり、多種多様な課題を内包するため、地域コミュニティの現状や課題が行政の各部署及び関係者間で共有され、包括的な支援を検討・実施できるよう、体制整備に取り組む。

また、行政施策を実施するうえで、地域の協力が不可欠なものとなるなか、地元関係者の負担感が増している。このため、施策の決定・実施にあたり、関係者の意見が反映される仕組みの構築を目指す。

